

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

189

薬事監視事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	2	地域医療・健康危機管理体制の充実
取組方針	2	安心安全な医療体制の構築

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	保健所費		
	大事業	保健所事業		
中事業	薬事監視事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	総務企画課	山田原尚生 488-5108
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	医薬品等の適切な販売が実施されるようにまた、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法を遵守させるように監視・指導を実施する。		医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき、この事業を実施している。			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	薬局・店舗販売業等及び毒物劇物販売業に立ち入り、構造設備、書類関係、その他の物件を検査し、担当者等に関わり調査を行った。	薬局・店舗販売業等及び毒物劇物販売業に立ち入り、構造設備、書類関係、その他の物件を検査し、担当者等に関わり調査を行った。	薬局、店舗販売業等に関する許可申請や届出での受理及び定期的な立入検査及び新規、更新許可申請時に立入検査を実施する。 市薬剤師会にて関係法規に関する講習会の実施。	薬局、店舗販売業等に関する許可申請や届出での受理及び定期的な立入検査及び新規、更新許可申請時に立入検査を実施する。 市薬剤師会にて関係法規に関する講習会の実施。	薬局、店舗販売業等に関する許可申請や届出での受理及び定期的な立入検査及び新規、更新許可申請時に立入検査を実施する。 市薬剤師会にて関係法規に関する講習会の実施。	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	604	591	570	546	684	581	1,521	0	1,521	0
伸び率(%)	△7.9%	6.3%	△5.6%	△7.6%	20%	6.4%	122.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	9,253	11,326	11,829	12,548	12,243	12,404	12,243	0	0
	正規職員以外	1,424	1,424	897	1,290	988	988	988	0	0
	小計	10,677	12,750	12,726	13,838	13,231	13,392	13,231	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	782	777	782	0	812	0	964	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	900	0	0	0
その他	2,751	2,637	2,671	0	2,648	0	2,496	0	0	0
一般財源(税等)	△2,929	△2,823	△2,883	546	△2,776	581	△2,839	0	1,521	0
所要人数(人)	正規職員	1.16	1.42	1.48	1.57	1.52	1.54	1.52	0.00	0.00
	正規職員以外	0.57	0.57	0.57	0.82	0.61	0.61	0.61	0.00	0.00
主な予算内訳	自動車借上料201千円、管外出張旅費136千円、消耗品費276千円、									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
立入件数	件	目標値						
		実績値	420	406	288			
		達成度(%)	0%	0%	0%	%	%	
許可件数(新規及び更新)	件	目標値						
		実績値	227	138	120			
		達成度(%)	0%	0%	0%	%	%	
施設監視率(監視実数÷監視施設数)	%	目標値	63	63	65	50	50	
		実績値	52.8	52.3	37.1			
		達成度(%)	83.8%	80.8%	0%	%	%	
成果指標		目標値						
		実績値						
		達成度(%)						

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく事務のため、現状のまま維持継続する。
見直し・改善内容	新規薬局の増加及び新たな高度管理医療機器販売業等の許認可業務により、監視施設数が増加している。施設監視率を上げるには、薬剤師の確保が必要である。